



RI 会長：ジェニファー・ジョーンズ
2620 地区ガバナー：浅原 諒蔵
会長：山城 一哲 幹事：栗原 伸夫 会場監督：植山 和人
例会：毎週金曜日 19:00 - 20:00
グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006
E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2023年2月3日(金) 晴 第1610回例会 週報 NO. 23

司 会：三輪久夫 会場監督補佐
点 鐘：山城一哲 会長
国歌「君が代」斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト

天竜浜名湖鉄道(株)
伊藤 文俊様
浜松磐田信用金庫
SDGS 推進部 米澤 浩祐様

会長挨拶



本日は節分です。邪気を払い、無病息災を願う行事で、みんなが健康で幸せに過ごせますようにという意味を込めて悪いものを追い出します。明日は立春、これから日一日と暖かくなってきて、気持ちも明るくなります。

1月28日浜松志耀 RC の認証伝達式がありました。浅原ガバナー、坂田ガバナー補佐立ち合いで、第5グループ12番目の仲間となりました。会員は29名。志耀とは志を持ち、自ら光輝くという意味だそうです。設立に関してはいろいろご意見もありましたが、出席してみて、ロータリーの基本、原点に戻った活動を目指している大変すばらしいクラブだと感じました。翌日、小澤会長からお礼のメールをいただきましたので紹介します。

「昨日はお大変忙しい中、お越し

いただきありがとうございます。浜松中 RC 様からのお心遣いに感謝申し上げます。2月9日第一例会を開催し、ロータリー活動を邁進していきます。未熟な所もありますが、宜しくお願い致します。」

本日の例会は花のリレープロジェクトと観光振興のテーマでの卓話です。わがクラブも6月にリレープロジェクトの活動を予定していますので、その参考になると思います。

幹事報告



配布資料・・・ロータリーの友
米山寄付領収書
回覧・・・Rotary 誌／ガバナー月信
／ロータリー手帳申込
例会終了後理事会があります
次週は休会です。翌週は静岡ブルーレヴズ山谷様の卓話です。

奨学金贈呈

*グエン カオ キさん



大学の専攻はロボットで、ロボットの設計、プログラミングの

テストの技術研究に取り組んでいます。最近では車両の移動、ロボットの運動計画と環境認識について研究しています。

会員誕生日

川合 広高さん	16日
久米 崇也さん	18日
藤野 匡司さん	19日
井田 一芳さん	20日
金子 芳保さん	22日



スマイル

♪山城一哲さん、栗原伸夫さん

本日は天竜浜名湖鉄道の伊藤様にお話をいただきます。伊藤様にはこれまでも例会にお越しいただいており、今日もまた興味深いお話を伺えると楽しみです。

♪三輪久夫さん

本日は当金庫の職員に卓話の機会を頂き、ありがとうございます。花のリレープロジェクトを今後ともご支援宜しくお願いします。



卓話 「花のリレープロジェクトと 観光振興」

浜松磐田信用金庫

SDGS 推進部 米澤 浩祐様



花のリレープロジェクトについては日頃からご協力いただいております、ありがとうございます。

当初はどこを走っているのかさえもよくわからなかった天浜線ですが、現地をいろいろ調べ、18か所に花を植えています。アダプト団体は129団体、1団体年に1～2回の活動ですが、参加数が多いのできれいにメンテナンスできます。参加の延べ人数も8700人になりました。

2018年にスタートして、まず常葉大学駅前にヤマブキを植栽しました。並行して天竜二俣駅のメインガーデンはイングリッシュガーデンデザイナーの吉谷桂子先生にお願いしました。このほか各駅、それぞれのロータリークラブの方にご協力頂き、18か所の植栽を終えました。

新型コロナウイルスのまん延により、一部アダプト活動は自粛になりましたが、その後復活し現在に至っています。

吉谷先生が花をデザインしたラッピングの電車の車両は遠くから来た観光客の方にも好評で、運転手さんもこれを運転するのは楽しいそうです。

このプロジェクトについていくつか表彰も受けました。金融機関が取り組んだ事例として2019年に地方創生大臣から、また19と20年には天浜線沿線の魅力向上事業としての寄付に紺綬褒章をいただきました。花の関係の表彰では去年の6月に全国花の街づくりコンクールにエントリーしたところ、第2次審査に進むことができました。その際には暑い中、中RCの

皆様にもご協力いただき、お陰様で優秀賞を受賞できました。これはなかなか権威ある賞だそうで、一回の応募で受賞するのは難しいのだそうです。県知事のところにも受賞報告に行ってきました。

観光は儲かる産業で、スイスはそれを柱に稼いでいます。ポストコロナでスイスは絶好調だと聞いています。日本で時給1000円で働いているときに、スイスの時給は2600円だったそうですが、今では4000円近くになっているそうです。日本でも政府が地方創生のカギだといっていますし、我々も地域を愛する気持ちを観光客に伝えることで観光資源を有効に活用しないといけないと思っています。

今後少子高齢化が進んでいくと、効率の良い、生産性の高い稼ぎ方が必要になります。これが観光産業が有効である点です。景色だったら、資本は只ですから、産業においてポテンシャルが高いと言われています。外国人旅行者も、元の水準には及ばないまでも少しずつ増えてきています。今後間違いなく安心して旅行できるようになりますから、誘客は増えてくる。ですからこのプロジェクトも第2フェーズに入っていくべきではないかと考えています。

各駅に看板を立ててみましたが、それだけでは十分観光客に伝わらないだろうし、案内の人を立たせておくことも難しいところです。それより電車に乗りながら天浜線の紹介ができるようなものをと、観光デジタルマップ作りを進めています。天浜線だけでなく、浜松市の中心地なども含めて観光商品を紹介できるものを考えています。全国花の町づくり大会に間に合うように準備を進めていますので楽しみにしててください。

天竜浜名湖鉄道 伊藤 文俊様



今日は、花以外の活動もご紹介いたします。

本来駅は地域の玄関口です。玄関はきれいに掃除されて当然の場所です。駅の草取りだけでなく、美化活動が行われている写真を紹介します。

遠江総合高校は遠州森町のアダプト団体ですが、地元のアジサイ寺から挿し木を育成し補植をしています。また駅の待合室を明るくするために、地元の花屋の協力を得て年4回フラワーアレンジメントを展示しています。三ヶ日町などでは清掃活動やイベントをおこないました。今まで天浜線の社員さんがやることはあまりなかったのですが、一部の方が自発的に駅のペンキ塗りを行ってくれました。浜名湖サービスエリアでは天浜線と高速道路が互いに広告枠を設置し、情報交換をしています。展示枠には線路の枕木を使っています。これは細く削るのがなかなか難しかったそうです。

5月27日・28日には全国花のまちづくり大会が浜松で行われます。大河ドラマ館とその前のイベント広場を使ってリレープロジェクトの広報ができるよう、イベントを企画中です。市役所のほうでもイベント広場の活用が特に決まっていなくて、そういうのは大歓迎ですとのことでした。当地観光の起爆剤として、花のリレープロジェクトをフル活用していきたいと思っています。

出席報告

発表：露木利行 出席委員

会員数	43名
出席者数	22名
出席算定会員数	34名
出席率	64.71%

前々回出席者数
23名
修正出席率
74.29%

